

2019年(令和元年)7月12日(金曜日)

下野新聞

指定管理運営 県外で拡大

今秋、沖縄で2カ所目開業

宇都宮のファーマーズ・フォレスト

「道の駅うつのみやろまんちっく村」などを運営する地域商社ファーマーズ・フォレスト(宇都宮市新里町、松本謙社長)は、県外でも指定管理者に選ばれるなどして、地域商社網を広げている。11月には指定管理者として、中旬に開業を予定する沖縄県大宜味村「やんばるの森ビジターセンター」の運営に乗り出す。2020年度開業の茨城県内の道の駅の指定管理者にも内定しているほか、今後は長野県などの拠点も増やす計画だ。(伊藤一之)



沖縄県大宜味村の「やんばるの森ビジターセンター」完成予想イメージ(©大宜味村)

20年度、茨城で道の駅

同社の施設運営は、沖縄県では昨年11月開業のうるま市の農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」の指定管理者に続き2カ所目。

やんばるの森ビジターセンターは、16年9月に指定された沖縄県北部「やんばる国立公園」の玄関口に位置し、地域振興の核となる施設。道の駅への登録を申請している。世界自然遺産登録も期待される、やんばるの自然・文化の魅力を、写真や標本などで発信する。特産品を展示、販売す

るほか、飲食ができる観光拠点施設も併設される。

松本社長は「やんばる地域のエコツーリズムなどの本格的な拠点として当社の道の駅に関するノウハウと、着地型観光などの豊富な実績を生かして運営する」と説明する。先月設立された大宜味村観光協会にも関わることで「拠点を核としたDMO(観光地域づくり推進法人)機能も期待されている」という。

指定管理者に関しては、20年度開業を予定する茨城県龍ヶ崎市の道の駅の運営

でも東急ハンズ(東京都)と共同体で候補として内定している。牛久沼という地域資源を最大限に活用した施設にする。

また昨年5月から長野県の「綿半スーパーセンター」内に直営店を出店しており、現在の3店舗からさらに増やす予定。

岩手、千葉、福島、愛媛の各県などで観光などの拠点をプロデュースする事業も進めており、松本社長は「全国の各拠点との連携を模索し、全国的な地域商社ネットワークの確立を目指す」と話している。